

## スローガン：“ベストパートナー”

策定の趣旨： 新型コロナウイルスの世界的大流行に伴い、私たちは行動を制限され、今まで普通にできていた人と人との交流が少なくなったことで、人の感情や行動に触れることの大切さに気づかされました。私たちにできること。それは、人と人とのふれあいができる場を積極的に提供していくことと考えます。私たちは、市民の皆さまが、自由に、楽しく、安心して参加できるより良い環境をつくり、賑わいある施設の催しもの、心に潤いを与える文化事業や、身体に健康をもたらすスポーツ教室の開催などに加え、世の中の多様なニーズに応えていくことを通じて、皆さまに寄り添い、豊かな心を育てる“ベストパートナー”になりたい。このような想いで、第3期中期経営計画を策定しました。また、私たちは、松山市が掲げる松山市スポーツ推進計画、松山市文化芸術振興計画、第4次まつやま教育プラン21のさまざまな施策と連動した中期経営計画を実現するため、松山市と積極的に協働していきます。

計画の期間： 令和5年(2023年)4月1日～令和9年(2028年)3月31日(5年間)

構成図：

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団定款第3条 目的

この法人は、文化・スポーツを総合的に振興することにより、文化が薫りスポーツ活動に満ち溢れた魅力あるまちづくりを推進し、もって創造性豊かで健全な市民生活の形成と、潤いと活力にあふれた地域社会の発展に寄与することを目的とする。



財団が目指す姿

- 1 より安心、より安全、より快適な施設運営で新しい時代へ！
- 2 市民とともに創る「心を潤す文化」・「親しみあるスポーツ」を！

### 目指す姿を達成するための取り組み

#### 重点施策1

#### 安心・安全・快適 魅力を最大限に活かす施設の運営

【数値目標項目】①施設利用者数 ②施設使用料収入 ③利用者1人あたりの施設運用コスト ④顧客愛着度・信頼度 (NPSスコア) ⑤アンケートから抽出された課題への取り組み ⑥施設内外の定期点検回数 ⑦事故ゼロへの取り組み ⑧施設運営のための研修 ⑨救命講習の受講修了者数 ⑩利用資源の削減(環境への取り組み)

#### 重点施策2

#### 市民・地域・世代 新たな利用者ニーズを反映した事業の展開

【数値目標項目】①実施した総事業の参加人数(公益目的事業1) ②実施した総事業の参加人数(公益目的事業2) ③実施した総事業の参加人数(公益目的事業3) ④「カルスポねっと」の登録者数 ⑤特定費用準備資金を活用した事業運営 ⑥情報セキュリティ現地調査の実施 ⑦助成事業数 ⑧SNSを活用した情報発信数 ⑨連携事業への参加者数 ⑩助成・育成事業による支援者件数

## 数値目標一覧

施策	指標番号	指標名	管理部署	現状(R3)	目標値(R9)
重点施策1	1	施設利用者数	コミュニティセンター	1,021,137人	1,980,181人
	2	施設使用料収入	市民会館	321,548千円	486,817千円
	3	利用者1人あたりの施設運用コスト	総務課	利用者1人 1,523円	利用者1人 868円
	4	顧客愛着度・信頼度(NPSスコア)	野外活動センター	－pt	1pt
	5	アンケートから抽出された課題への取り組み	総務課	19件	20件
	6	施設内外の定期点検回数	埋蔵文化財センター	68回	80回
	7	事故ゼロへの取り組み	中央公園	0件	0件
	8	施設運営のための研修	施設管理課	年114回	年106回
	9	救命講習の受講修了者数	野外活動センター	10人	33人
	10	利用資源の削減(環境への取り組み)	北条スポーツセンター	100%	70%
重点施策2	1	実施した総事業の参加人数(公益目的事業1)	文化振興課	11,764人	65,918人
	2	実施した総事業の参加人数(公益目的事業2)	中央公園	15,604人	52,326人
	3	実施した総事業の参加人数(公益目的事業3)	埋蔵文化財センター	27,505人	66,117人
	4	「カルスポねっと」の登録者数	市民スポーツ振興課	1,600人	2,100人
	5	特定費用準備資金を活用した事業運営	コミュニティセンター	0円	250万円
	6	情報セキュリティ現地調査の実施	総務課	100%	100%
	7	助成事業数	スポーツ団体振興課	3事業	20事業
	8	SNSを活用した情報発信数	市民スポーツ振興課	448回	572回
	9	連携事業への参加者数	文化振興課	6,276人	19,982人
	10	助成・育成事業による支援者件数	スポーツ団体振興課	128件	208件